

花みづき

第40号 / 2026.4.1

みんなで築き上げる共有空間

—白梅学園らしい

「Commons (コモンズ)」のはじまり—

白梅学園大学・短期大学図書館 新館長 / 子ども学部 子ども学科
教授 仲本 美央

2010年、私はフィンランドの教育・福祉における子どもを取り巻く現場について学ぶため、ヘルシンキ市、エスポー市、タンペレ市を訪れたことがあります(仲本ら, 2011)。当時、フィンランドはPISA調査の結果において読解力の上位国として注目されていました。このため、地域の保育園や小学校、特別支援学校、大学などの教育機関に加えて数か所の図書館も視察しました。さぞかし充実した本環境なのだろうと足を踏み入れたタンペレ市立中央図書館メツォでは、子ども向けの本・絵本の蔵書数が多いことだけでなく、なんと豊富な種類のボードゲームとその遊びを楽しむ机や、劇遊びができるように大型の人形遊具と物語創作ができるシアターが常設されていました。集う人々が活発な会話による交流を通してコミュニケーションを取ることのできるスペースが存在していたのです。すでに、当時のフィンランドの多くの研究成果では、物語創作をはじめとした会話文化は子どもの民主的な人間関係を育てることに影響を与えると実証していました。だからこそ、フィンランドにおける図書館内では、家庭と同じようなカーペットスペースや数組が入れるほどのミニチュアハウス空間が設置され、親子や子ども同士がゆったりと寝転がって積極的に会話して楽しむ姿がありました。“本を読む時にはお静かに”という日本文化とは全く異なる利用概念が当たり前のように広がっていたのです。

それから15年以上の年月が経った現在、私は日本全国の絵本・本の環境に関する現地調査を続けている中、その空間の作り方や使い方は著しい変化を遂げてきたことを実感しています。館内にカフェがあり、お茶やランチをしながら読書ができる図書館が増えてきました。また、読書をしている利用者の傍らでイベントやワークショップを開催する図書館などもあります。実際に、私のゼミナールでも、小平市内の仲町図書館にて親子で造形活動を楽しむ絵本のワークショップを開催したことがありました(写真例1、2、3)。このような図書館では、地域の多世代の人たちが集い、会話や活動が豊かに広がることによってコミュニティ機能が生成されることが特徴です。いわゆる自然と人と人の交流を生み出す「Commons (コモンズ) …構成員によって共同で利用・管理される共有資源」



となっています。

2026年4月、いよいよ白梅学園が未来ビジョンの一つとして構想してきた「Commons (コモンズ)」が白梅学園大学・白梅学園短期大学附属図書館内入口付近に誕生します。大学生・短大生はもちろんのこと、学園内の中高生、幼稚園の保護者や子どもたちなど学園関係者全てが共有資源として使用可能な空間です。飲み物片手に読書するだけではなく、会話・対話を楽しみながら各自の考えを持って活動を展開することができる学び・交流の場となります。先述した通り、このような多様な人々が集い楽しむ空間は公共施設である図書館では広がりつつありますが、大学のような高等教育機関の中では珍しい先駆的な取組であると言えるでしょう。加えて、地下一階には個別スペースを増やし、より落ち着いて学びに取り組む空間も充実しました。このように、利用者がその時々によって図書館の活用スタイルをカスタマイズできる環境へと変化を遂げます。

そして、「Commons (コモンズ)」は構成員によって築き上げられる共有空間であることから、学園の一人ひとりの望みを実現させていくことができる場でもあります。ぜひとも、その活用と共に、白梅学園の皆さんにとってよりよい空間づくりとなるような提案をしていただきたいと願っております。その皆さんの声から誰にとっても心地のよい豊かな図書館環境づくりを目指していきましょう。

引用文献：仲本美央・山本房代・稲垣美加子・八田和子(2011) フィンランドの子どもを取り巻く社会環境—ヘルシンキ市、エスポー市、タンペレ市の教育・福祉・地域の現場から—、淑徳大学研究紀要(総合福祉学部・コミュニティ政策学部) 45, 285-302.



写真：仲町図書館内で絵本を活用したワークショップ楽しむ利用者親子と白梅学園大学の学生たち ※写真撮影時に掲載許可をいただいております。

あなたの声が図書館を変える——図書館アンケートの結果から

2025年7月～9月にかけて、図書館利用に関するアンケートを実施しました（結果はポータルサイトで公開中）。今回のアンケートでは、「どんな閲覧席が好きか」「図書館にほしい設備」について、たくさんの学生みなさんに答えていただきました。

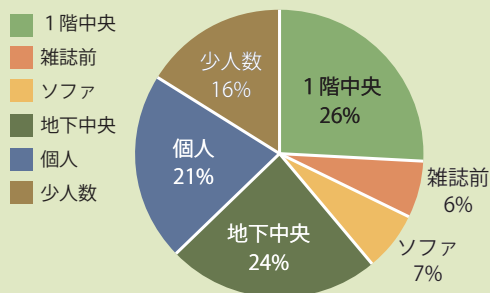
そこには、日々の利用の中で感じているリアルな気持ちが込められています。

このページでは、そうした声をひもときながら、学生のみなさんが図書館に何を求めているのかを紹介します。

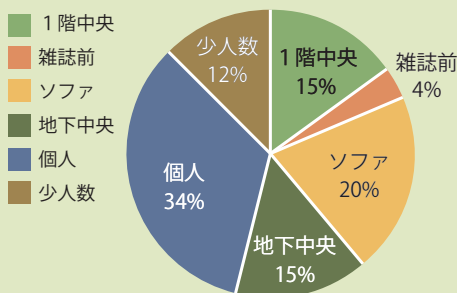
◎閲覧席について

- Q. 使ったことがある席は？ →現状：席数の多い1階中央・地下中央（グラフで緑色系）で半数を占める結果に
 Q. 好きな席、使ってみたい席は？ →理想：個人席（グラフで青色）、ソファ席（同じく黄色）をほとんどは使いたい
 Q. 増やしてほしいのは、どんな席？ →願望：個人席や仕切り席に加え、カウンター席など多様な席がほしい

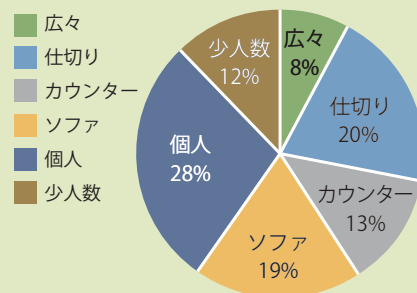
使ったことがある席（現状）



使いたい席（理想）

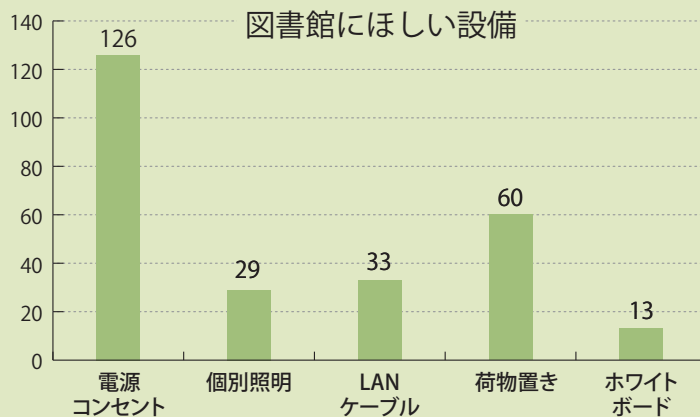


ほしい席（願望）



◎図書館にほしい設備

アンケートに回答してくれた方の8割弱が電源コンセントがほしいと回答
 インプットする読書だけではなく、同時にアウトプットの作業も求められる、いまの大学生活に、図書館の設備が追いついていない現状が明らかに……



◎図書館への要望（自由記述）

※抜粋（ポータルサイトでは全ての自由記述を公開しています）

- ・個人で仕切られていて集中できる席を多く用意してほしい
- ・長時間いられるように、充電・飲食ができるようにしてほしい
- ・静かに作業したい、うるさくならないように対策してほしい
- ・貸出期間を長くしてほしい、延長回数を増やしてほしい
- ・パソコンを借りられるようにしてほしい

みなさんの声にこたえたい
 できることから始める
 図書館の新たな取り組みを
 次ページから紹介します⇒

図書館についてのご意見・ご感想はいつでもこちらへ。E-mail : library@shiraume.ac.jp

図書館のホームページはこちらから <https://libwww.shiraume.ac.jp/>



選べる・使える図書館へ

「この席が好き」「こんな場所がほしい」

みんなのリアルな声が集まった今回のアンケート

その結果をもとに、「使いやすさ」と「居心地」を本気で考えたレイアウト変更&什器入替をしました
勉強しやすく、過ごしやすく、集まりやすく。進化する図書館の“今”を、お伝えします！

コモンズエリアが誕生します！

【コモンズエリア・イメージパース】



【ラーニングコモンズ】

可動式の机と椅子、ホワイトボードに画面提示用の大型モニタ1台を備えています
グループワークやミーティングに最適！

【リラックスコモンズ】

カフェのようなビッグテーブルや2人掛け席にソファ席
くつろいで過ごせる癒しの空間

個人閲覧席、増やします！

現状：2席 ⇒ 7席 + 16席（仕切り席）

アンケートで最も求められていた個人席。

少なすぎて、使いたいときに使えない。

そんな状況を改善すべく、新たに5席増設します。

さらに、増設の個人席と同じスペースを確保した

仕切り席を16席導入します。

どちらも、電源コンセント・個別照明付き

【個人席】



【仕切り席】



コモンズエリアと個人閲覧席、時と場合に応じて選べる・使える図書館をどうぞご利用ください

図書館をもっと自由に——新サービスはじまります

「もっと気軽に使えたらいいのに」

「ここで勉強も作業も完結したらいいな」

そんな声に応えるかたちで、図書館に新しいサービスが加わりました。

1. 学生証がなくても資料を借りられます

学生証を持ってこなかった！



そんなときでも、スマホで図書館・マイアカウントのログイン画面を見せれば、資料を借りられます。

※ただし、マイアカウント（旧・利用状況照会）画面では、バーコード表示ができないので、学生証のほうが手続き時間は短いです。

2. 会話可（1階）、飲食可（可能なものに制限あり）になります

静かに集中する場所はそのままだけに、話し合いながら学べる、軽く飲食しながら過ごせる空間になります。

レポート相談、グループワーク、ちょっとした打ち合わせにも、図書館が“使える場所”に変わります。

	会話	飲食
可能エリア	1階 ※地下階ではお静かに	全席（1階、地下階） NG行為 立っての飲食、歩きながらの飲食は厳禁！！
説明	<ul style="list-style-type: none">1階中央閲覧席1階雑誌架閲覧席リラックスコモンズ — 小声での会話OK <ul style="list-style-type: none">ラーニングコモンズグループでの会話OK 地下の閲覧席は全て、個人ブースもしくは仕切り席になりました。 静かに集中したいときは地下階をご利用ください。	飲み物  ○ ペットボトル、マイボトル チルド飲料、 プラスチック蓋をしている紙コップ （移動の際は必ず袋に入れて持ち歩くこと） × 紙パック飲料 蓋のないもの  食べ物 ○ おやつ、補食（手でつまめるもの） × お弁当、カップ麺（ラーメン、焼きそば、 パスタなど全て）・汁物、においのきついもの

3. 電源が使える席を導入・充実させます

ノートPCやタブレット、スマホの充電を気にせず、安心して長時間作業ができる環境を整えました。

「ここに来れば、全部できる」

そんな場所を目指しています。

読む場所から、考える場所へ。

静かにこもる場所から、学びを広げる場所へ。

図書館は、みなさんの学び方・過ごし方に合わせて、少しずつ進化しています。

新しくなった図書館を、ぜひ体感してみてください。

えっ?! 図書館で飲食していいの？

カフェで本を読んだり、PC作業したり、そんな場面も日常にある中で図書館でも、飲み物を片手に読書や作業ができてもいいのでは——そんな考えから、飲食解禁することになりました。

パソコンを使うとき、私たちは自然と「こぼさないように」と気を配ります。図書館の本だって同じ。わざと汚そうと思って使う人はいません。

利用者みなさんの心がけを信じて、

もっと気軽に使える図書館にしたいと考えています。